



大妻同窓会 広島世羅だより

第6号
発行責任者 伊藤妙子

大妻コタカ記念会会長ご挨拶

広島の会員の皆様お元気でいらっしゃいますか。三川ダムのほとり、大妻先生の生家の周りは季節により様々な景色を見せてくれ、広島を訪れる大きな楽しみになってます。4月の総会にお伺いした際には木々の柔らかな新緑が美しく、山つつじ八重桜が目を楽しませてくれました。コタカ先生が「風光明媚なこの地に戻ってくると、日頃の忙しさを忘れ、心安らぐ思いがする」と「ごもくめし」に書かれている文が思い浮かんできます。総会で田坂先生が「引き寄せる力」についてお話されましたが、沢山の方がコタカ先生を慕い敬うのは、この信仰心による引き寄せる力が大きい故と共感し、強く印象に残りました。

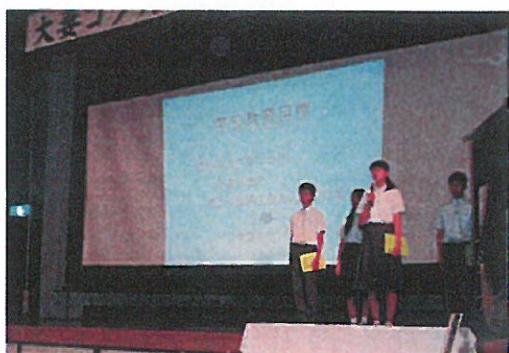


記念会会長
井上小百合

木々の緑が一層深くなった6月にも「大妻コタカ先生生誕130年祭」で再び世羅町を訪ねる機会を得ました。大妻コタカ先生顕彰会の方々が準備を重ねられ、当日は大勢の方がおいでになり、コタカ先生について会場に展示された写真や文物によって広く知っていただけることは大きな成果であったと思います。中でも甲山中学校では、学校を挙げてコタカ先生の教えを実践する活動をしているという発表にはとても感心し、教えが今に生きていることを嬉しくまた頼もしい思いが致しました。広島にはコタカ先生の近くで学生時代を過ごされた方が多くいらっしゃいます。当時の思い出を一つでも二つでも教えていただき、コタカ先生を知らない世代に伝えていくことも記念会の使命と思っています。ご協力いただければ幸いに存じます。広島同窓会の益々の発展をお祈り申し上げます。



世羅町立甲山中学校のみなさん
(2泊3日の東京・修学旅行で大学訪問)



大妻コタカ先生生誕130年祭での
世羅町立甲山中学校の発表

広島世羅 代表挨拶

会員の皆様、お元気でしょうか。この夏、広島市の土砂災害は、私達にとって大きな衝撃でした。亡くなられた方々を悼み、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。さて、今年は、コタカ先生生誕130周年にあたり、6月、地元世羅町を初めとする多くの皆様のご協力の下、記念行事を終えることが出来ました。さらに、9月には地元12名が大妻家の先祖が祀られている長野県松本の大妻神社への参拝と、多摩墓地の大妻先生ご夫婦のお墓にお参りし、今日まで見守っていただいたことへのお礼を申し上げました。記念事業などを通じて培ったものを次年度に活かし、さらに躍進出来る会となるように努めたいと願っております。



代表 伊藤妙子

大妻コタカ先生生誕130年祭

今年は、大妻コタカ先生の生誕130年の年に当たり、先生の生地世羅町に於いて記念祭を開催致しました。

東京から花村大妻学院理事長を初め井上大妻記念会会长、大勢の役員諸先生をお迎えし、6月21日（土）、世羅町甲山農村環境改善センターを会場に約5百名の参加の下、式典と記念講演、旧甲山大妻女子専門学校卒業生作品展示・同食品バザー・ファッションショーなどを行いました。東京の大妻学院卒業生の皆様も大勢駆けつけて下さい、本当に有り難うございました。地元甲山中学校生徒による郷土出身のコタカ先生についての研究発表や、大妻学院校歌演奏には、感動で胸が一杯となり、静かにお母様のお姿を思い浮かべたことでした。

地元ケーブルテレビの取材では、井上会長がお母様の人となりを分かり易くお話し下さい、また、大妻記念会からは沢山の展示や、配布資料を提供いただく等多大なご協力を頂きました。重ねてお礼を申し上げます。

生誕祭に関しては不備なことも多々あったことと思いますが、天候にも恵まれ、多くのご参加とご協力の下無事挙行出来ましたことを、只々感謝しております。有り難うございました。

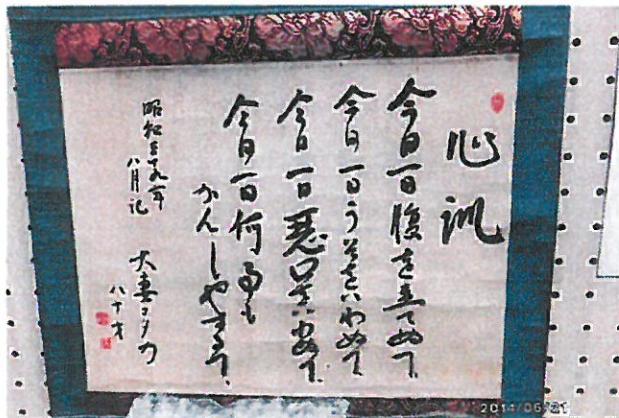
広島・世羅支部 代表 伊藤妙子



大妻コタカ先生生誕130年祭に参加して

大妻学院理事長による「大妻コタカ先生の人と思想」についての講演、アトラクション、その中で甲山中学校の生徒会のあり方の中にコタカ先生の教えがしっかりと継承されていることの発表がありました。家庭崩壊、家族の喪失と言われている昨今、全国の学校にも広がることを望みます。コタカ先生は戦中、戦後の女性教育者として、女性の自立を唱えられました。そして良妻賢母、恥を知れ、心美人になれ、成せばなる・・・等人間が生きていく上の過ごし方を沢山学ばせて頂きました。先生自身の情味豊かな風格のある故か、私の心にしっかりと入っています。これから的人生、実情の人、真実の人、実践の人となり、少しでも大妻精神を継承していくべく努力したいと思います。

山中美也子



支部総会に参加して

大妻先生御生家のある三川ダム湖畔は新緑の中に藤の花が咲き乱れ、足下では五月のピンクの花が、それはそれは美しい自然が広がる風景でした。会は恒例の議事内容に続いて、当会のため遠路お越し頂きました同窓会会长、井上小百合先生より、学院の近況報告を受け、年々新しい時代に向かって発展している母校に思いをはせ、よろこびもひとしおでした。昼食は山の幸を取り合わせた料理を心を込めて用意していただき、ご馳走になりました。午後は懇親会で、マジックや歌で楽しいひとときを過ごしました。私は初めての参加でしたが、この会はお互いを仲間とした受け入れ、素敵なお出会いの場であったと、お説明いただいた先輩の皆様に感謝申し上げます。

松岡千枝子

赤白椿と桜満開の「ごもくめし」に初めてお訪ねすることが出来、皆様とコタカ先生を偲び風光明媚な御生家で会食やアトラクション、散策を楽しみました。福山からダム湖まで同乗をお願いしまして、大変有り難うございました。晴天うららかでウグイスが鳴き、龍神さんにお参りし、庭で記念写真を撮りました。広島ミシュランこだわりの料理を味わい、手品、近況報告、歌と楽しいひとときはあつという間で、折り紙の手作り小物入れも頂きました。コタカ先生のお写真や思い出の品々が飾られた生家はとても温かみがあり、諸先輩や先生達と語らい、親睦を深めることが出来思い出深く、大変感謝申し上げます。

佐藤 静枝



大妻同窓会広島世羅支部総会（平成26年4月27日）

藤田桜—「ピノッキオ」からの布貼り絵展

大妻女子専門学校「現・大妻女子大学」を卒業後1946年中原淳一にそのセンスの良さを認められ、次第に手芸作家として才能を開花され、布の知識に加え画家としての表現力を身につけられ布貼り絵という新たな絵描表現を見いだされました。布を絵の具のように自在に使いこなされ布独特の温かい風合いと奥行きのある多くの作品の展示がふくやま美術館でありました。このような才能をお持ちで現在もなお一線でご活躍されている大先輩がおられる事を誇りに思います。



藤田 桜
Fujita Sakura

-「ピノッキオ」からの布貼り絵-

2014年7月12日㈯～9月15日㈪

ふくやま美術館
福岡県福岡市西区糸島市糸島111-1

平成26年度会員活動報告



茶箱体験ではおいしいお饅頭や、抹茶を戴きました。その後、折り紙を使って、干支を折りました。

茶箱体験 干支の折り紙づくり
(2014年1月28日)



花でチワワ作り
(2014年3月14日)

淡色のカーネーションを5本使って、チワワ犬を作り、オワシスに飾りつけました。とても可愛くて、花も長持ちしましたよ。またの機会に皆さんで作りましょう。



コースター作り
(2014年8月31日)

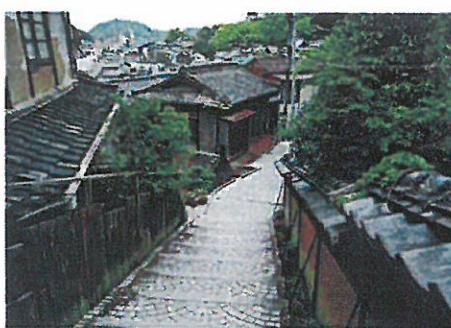
平成27年度広島世羅総会の予定

平成27年広島世羅総会は、古い町並み、細い路地、つらつらと続く坂道、どこか懐かしい風景に出会える尾道。昔から港町商都として発展、歴史文化が薫る尾道。豪商が多く神社仏閣を寄進、造営がなされて現在も30余りお寺がJR沿線に点在しています。次期総会は、尾道を会場として開催されます。当日は、尾道の港湾整備を行った名誉市民「平山角左衛門」の功績を称え尾道の発展を願って開催される、尾道港祭りの日でもあります。少し混雑するかと思いますが、お楽しみ下さればと思います。会場はJR尾道駅前シャンブルで以前開催したこともあります。車の混雑が予想されますので公共交通機関をご利用下さい。

場所 平成27年4月26日(日) グリーンヒル尾道2階シャンブル

時間 11時30分 受付ロビーにて11時より

※新幹線新尾道駅より車で7分。広島方面からは、そごうバスセンターより高速バスが出ています



奥本美枝

編集後記

原稿依頼を快く受けて下さいました会長様はじめ、多くの皆様のご協力のお陰で無事第6号を発行することが出来ました。今年は大妻先生生誕130年祭があり沢山の原稿をお寄せ頂き感謝申し上げます。

越智法子